

小学校教科等研修講座(外国語活動)

教科等指導員 池尻小学校 教諭 政処 布沙

担当指導主事：増田 朋之

キーワード：コミュニケーション活動 英語を話す 場の設定 教材研究 英語指導力

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
8月23日（木）	池尻小学校 政処 布沙 教諭	総合教育センター 3階 多目的室 講話	7月10（火）池尻小学校にて「What color do you like?—クラスの好きな色ランキングを当てよう—（第5学年）」の授業を通して考える。 「大学と連携した英語指導力向上事業研修報告—『子どもが外国語を話したくなる場の設定』を中心にして—」

2 主な内容

- (1) 『話したくなる場の設定』を意識した授業づくり（第5学年）

教科書単元「What color do you like?」をアレンジし、単元を通して児童がやらされているのではなく、「話したくなる」ような活動を取り入れた授業を提案した。本時では「クラスの好きな色ランキングを当てる」というめあてを設定し、インタビュー活動を中心に据えた。



- (2) 「伝達講習—平成29年度大学と連携した英語指導力向上事業—」

昨年度受講した「兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業」の伝達講習を行った。「今、英語教育に求められること」として、英語を使う量と経験を増やすことや、コミュニケーション活動を取り入れていくことがあると伝達した。なかでも特に「子どもが外国語を話したくなる場の設定の必要性」を中心に具体例を3つ提案した。



- ① カードチェンジゲーム…「ラッキーカード」を手に入れたいから多くの友達と質問し合う。
- ② しおりをプレゼントしよう…友達に喜んでもらうために、相手の好きな色や形を質問する。
- ③ ランキングゲーム…クラスの好きな色ランキングを当てるために、多くの人に質問する。

3 成果と課題

- (1) 成果

- ① 授業を公開することで、英語の教科化に向けて不安を持つ教員へ、授業づくりのモデルを提案することができた。
- ② 英語を話すことに恥ずかしさや抵抗をもつ児童でも、「ランキングをつくって当てる」などの「必然性」があれば自ら話そうとする姿が見られた。
- ③ 伝達講習では、具体的な活動を提案したことで「実際にすぐ授業に取り入れた」とのフィードバックがあったり、教師間でワークシートを共有するつながりができたりした。

(2) 課題

- ① 小中連携として、中学校に入学するまでに小学校で定着させるべき力を明確にすることが必要である。
- ② 市内の各小学校ごとに、外国語教育に対する教員の思いやカリキュラムの編成の仕方が異なることが浮き彫りになっている。
- ③ 中学年での外国語活動、高学年での外国語教科の本格実施に向けて、教員の意識を高めるために継続して研修を行う必要がある。